

こんにちは

白子の議会

です

第155号

令和6年11月7日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169

給食費無償化
9月から始まる

- 議会で討論 2~3ページ
- 4議員が一般質問 4~7ページ
- こんなことが決まりました 8ページ

学校給食は、子どもたちの健やかな成長を支えるために栄養バランスを考慮し、地域の食材や旬の食材を使用したバラエティーに富んだメニューで提供されています。

調理員の皆さんは子どもたちの笑顔のために、細心の注意を払って調理しています。

までを振り返る

連する補正予算が計上され、全会一致で
きた学校給食費の無償化が実現すること
までの道のりを振り返ります。



学校給食センターの運営には、年間1億2,000万円程度が必要です。そのうちの保護者負担は3,300万円でした。

学校給食費無償化とは、この保護者負担分を町が負担することです。

私たちが質問しました

議会で討論

町長 答 情報収集に努め、国や県の動向を注視し、様々な観点から前向きに検討。

市川隆子議員 問 物価高騰で苦しい中、給食費無償化は。



令和4年6月議会



町長 答 県の状況を見て町も第三子以降無償化に取り組む。全額補助はまだ考えられない。

市川隆子議員 問 県が第三子以降を無償化する方針を固めた。町も補助すべきでは。

令和4年9月議会

企画財政課長 答 優先順位から学校給食はまだお待ちいただきたい。今の財政状況でぐに踏み込むのは難しい。

町長 答 政府の具体的方策を見極めた上で検討していくべき。

大多和正夫議員 問 第一子・第二子の50%相当額の支援や無償化に向けた考えは。

令和5年12月議会

教育長 答 教育委員へ説明、承認いただけるよう準備を進める。給食センター運営規則等の改正等の検討を進める。スマートに9月からの給食費の完全無償化を実現したい。

大多和正之議員 問 今回給食費を無償化へと至る町長の考え方。

令和6年6月議会

市川隆子議員 問 議員発議で「国の負担で学校給食費の無償化を求める意見書」を議決、総理大臣をはじめ関係大臣へ通知しました。

さらに

町長 答 いずれかはやうやくいるを得ないと思っていた。近隣町村で始まっている中で白子町も当然やるべきだと思い、9月からやることになった。



給食センターでは、子供たちが安心して給食を食べられるように「検食」を行っています。

給食の質を落とすことなく、今までと同様に安心・安全な栄養価を加味した美味しい給食を提供します！



[白鷗小学校の保護者]
子どもの成長にとって、栄養バランスのとれた給食は欠かせないものです。今回、他の自治体に先駆け、給食費を無償にしていただきことで家計への負担が軽減され、とても感謝しております。感謝の心を忘れずにいただいて欲しいです。

[南白亜小学校の保護者]
学校給食の無償化が全国で少しずつ進められている今、白子町も無償化となり、保護者として経済的負担の軽減となり、とても助かります。白子町は安心して子育てできる環境に近づいていくと思っています。

[関小学校の保護者]
昨今の物価高騰で、どの家庭もどのように節約をすべきか悩んでいる中、白子町の学校給食が無償化となり、保護者としてもありがとうございます。千葉県でもまだ学校給食無償化を実現できている市町村は少なく、白子町は子供だけではなく、保護者の意見にも耳を傾けてくれるとしても暮らしやすいまちだと思います。

ただ、無償化がスタートしたのは年度の始まりで、無償化が突然行われた印象があり、そこには心・安全な食材が確保できなくなる、子供の成長に影響してしまうような事は困ります。

無償化にした事で、安心・安全な食材が確保できなくなる、子供の成長に影響してしまうような事は困ります。

今まで同様、栄養バランスがどれ、より安心・安全なおいしい給食を作ってくれるよう保護者として切に願います。

学校給食費無償化

執行部から小中学校給食費の無償化に関する提案のとおり可決されました。これにより、これまで議会でも要望していました。今回の議会だよりは「学校給食費無償化」



無償化になったら、給食の質は大丈夫？



これからも子供たちのために安

令和6年9月12日(木)から24日(火)までの13日間で、令和6年第3回白子町議会定例会を開催しました。

本会議では、教育委員の同意や決算の認定などが決まりました。

一般質問では、4人の議員が町政を質しました。

※議会だよりの一般質問は議員作成の原稿を基に作成しています。

詳細は町ホームページ(右のQRコードでご覧いただけます)でご確認ください。



答 町長
昼夜の提供については、検討課題であると捉えています。

検討課題

問 議員
保護者の負担削減や弁当参による食中毒防止などを目的に、長期休暇に昼食を出す学童クラブが増えています。我が町においても昼食の提供を導入すべきかと思うが、見解を伺います。

学童クラブの運営検討を 学童クラブの長期休業中における昼食の提供を

学童クラブを民間委託に



9番 宗島 理仁 議員

答 住民課長
保育自体の中身を充実させ、円滑な運営を図るために、民間委託を視野に入れながら検討する必要があると思っています。

民間委託を視野にいれ

問 議員
学童クラブを民間委託することで、安定した学童クラブの運営はもとより、均質で良質なサービスの提供をもって、児童の安全で安心な放課後の居場所としての学童クラブを確立し、子育て当事の両立支援を図れると思うが、運営方法について伺います。

学童クラブを民間委託に



ランドセルを背負って登校する小学生

問 議員
ランドセルだけでなく、通学用のリュックサックを積極的に推奨し、保護者の経済的負担の軽減と児童生徒の通学時の身体的負担の軽減を図るべきです。

答 教育課長
リュックや背負う形のスポーツバッグ等も負担軽減となると考えております。入学前の説明会のときに各学校で説明してもらい、様々な負担軽減につながればと考えています。

ランドセルの負担改善を ランドセルからスポーツリュックの推奨を

町として、通学用のリュックを推薦品に指定し、選択肢を増やす必要があるかと思うが、見解を伺います。

2番 前田 充浩 議員

避難所の多様化社会
に対応を



問 議員
避難所の長期避難等を想定した際、仮設トイレの数及び、ユニバーサルタイプのトイレが必要と考える。

トイレの確保と管理について伺います。
答 総務課長
ユニバーサルタイプのトイレも、障がい等ある方に必要と思われますので、レンタル簡易トイレと合わせて契約・設置できなか検討したいと 思います。

トイレの数は十分か
レンタル契約を検討



災害用トイレ



答 総務課長
ペツト同行避難の必要性は十分に理解しています。今後、他の導入自治体からの情報も得ながら、実現に向けて準備を進めていきます。

実現に向けて検討

問 議員
ペツト同行避難ができる避難所が必要であると考える。避難所の指定、住民への周知及びペツト同行避難のための講座開催等への検討状況について伺います。

ペツト同行避難ができる避難所はあるのか

災害応援協定先からのプッシュ型支援を

災害応援協定の見直しは出来ているのか

問 議員
災害の初期対応において物資供給が後手になることを防ぐため、協定先と協議の上プッシュ型で支援物資を提供するよう内容を見直すべきと考えるが、見解を伺います。

現状の協定内容が妥当

答 総務課長
プッシュ型支援は迅速に物資が届くメリットがありますが、かえって物資の供給が滞るといったケースも起こりますので、プッシュ型支援は、国、県などに限定した方がよいと考えております。



プッシュ型支援とは？

被災地からの具体的な要請を待たないで、食料や仮設トイレといった必需の物資を緊急輸送すること。

13番 大多和 秀一 議員



2事業の取り組み その在り方は

白子藝術祭 100年後
につなぐ取り組みは

問 議員
千葉県誕生150周年記念事業の一環として実施された「白子藝術祭」を取り組み経過と、今後の期待度として、郷土愛とながるこれから取り組みについて伺います。

暮らしがメインテーマに

答 町長
関地区的国登録有形文化財大多和家住宅、通称

**学校給食費無償化
いつ・どこで決定?**



調理の様子

事業費は約1000万円

答 企画財政課長

事業費は約1000万円を計上しています。事業の委託先は「シラコノイエ」を所有している大田由香梨氏が取締役となつて、株式会社スリーピングトーキョーが選定されています。参加者は総数150名でした。

今後については、県との協議を進めながら後世に残せるよう検討しています。

「シラコノイエ」にて暮らしをメインテーマに、町の暮らしがと共に、旧家における自然や歴史、文化的な価値を味わうものとなりました。

今定例会で補正予算として計上されました。どのような経緯で進められたのか、財源の措置はどうされたのか伺います。

子育て支援のトレンドとして捉える

答 町長

この問題は国が進めるべきだと考えていましたが、その進捗を見た時、早い段階での実現は難しくないと判断し、町単独での無償化を決定しました。市議制度を取り入れ合議制のもと進めてきたものです。財源は予備費で対応します。

町有財産の管理は

町有財産の適正管理と善管注意義務の捉え方は

問 議員

土地、道路、施設多くの機材など様々な町有財産がありますが、これは言い換えれば町民の財産でもあります。

適正な管理が求められる中で、多岐にわたる財産をどのように管理していくのか伺います。

町長の担任事務

答 町長

白子町財務規則に財産の具体的な管理方法が定められています。いずれの場合も長の決裁を必要とします。

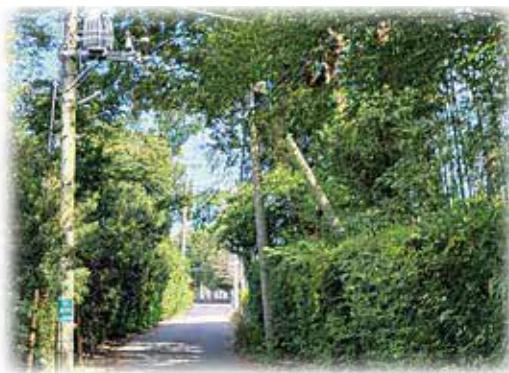
一連の管理を行っていく上で、所管の課長や職員の支援が必要となりますが、報告、連絡、相談

注意義務を果たすためには

答 総務課長

町長がすべてを把握する事は、物理的に不可能だと思います。

所管課長が所属職員を活用しながら管理をする事が、適正管理につながるものだと思っています。



道路管理として適正?

12番 大多和 正之 議員

問 議員
ゴミステーションに関する問題は、ゴミの不適切管理による悪臭、自治会未加入の利用問題等、多くの問題を耳にします。自治会に委ねているゴミステーション管理を検討してみてはどうか。

自治会に委ねているゴミステーション管理を検討



ゴミステーション管理は



答 町長
非常に難しい問題
全面的に町がやると効力的にも大変になると思います。
ゴミステーションを各地域に造つて今後も続けていきたい。



長生村役場敷地内のゴミステーション

イノシシ対策は

大型動物用箱罠の増設は

問 議員
白子町でも8月末頃からイノシシが目撃され、大型動物用箱罠は町には1基しかないとのことでイノシシによる農作物への被害も発生していますので、箱罠増設する考えがあるか伺います。



(上) 食べ物を探す
イノシシ



(下) 設置された
「箱罠」

早急に対処致します

答 町長
イノシシの対策は長生市締結し、目撃情報があつた地域には箱罠の設置を行い対応しております。箱罠が今は1基しか無いので、早急に対処致します。

答 町長
選挙時に掲げた12のマニフェストは未達成だと思います。DMO、白子荘、アクア健康センター付近、使用中止の国民体育館、保育園、小学校統合の課題が山積していますが、2期目の4年間を山積している課題解決に向けて取り組む考えが町長にあるか伺います。

今後の行政運営は

今後の行政運営をどのように考えるか

問 議員
私の掲げた12のマニフェストは、自分が言つたことですから、それで進めたいと思います。2期目については、まだ正式には申し上げません。

答 町長
正式には申し上げません

こんなことが決まりました

議案番号	件 名	議決結果
同意第1号・第2号	町教育委員会教育委員の再任	同意
議案第1号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決
議案第2号	白子町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	旧白子荘撤去解体工事請負契約の変更	可決
議案第4号	令和6年度町一般会計第3回補正予算	可決
議案第5号	令和6年度国民健康保険特別会計第2回補正予算	可決
議案第6号	令和6年度後期高齢者特別会計第1回補正予算	可決
議案第7号	令和6年度介護保険特別会計第1回補正予算	可決
議案第8号	令和6年度コミュニティ・プラント特別会計第1回補正予算	可決
議案第9号	令和6年度ガス事業特別会計第1回補正予算	可決
認定第1号	令和5年度町一般会計決算	認定
認定第2号	令和5年度国民健康保険特別会計決算	認定
認定第3号	令和5年度後期高齢者特別会計決算	認定
認定第4号	令和5年度介護保険特別会計決算	認定
認定第5号	令和5年度コミュニティ・プラント特別会計決算	認定
認定第6号	令和5年度ガス事業特別会計決算及び欠損金の処理	認定
請願第1号	東海林東治前白子町議会議員に対する問責決議を撤回する決議を求める請願	意見を付して不採択



議員研修会

千葉県町村議会議員研修会
主催の町村議会議員研修会（オーフラ千葉ホテル）に12名参加しました。

7/31
県議長会の
議員研修会

研修会に
参加しました

補正予算等に
対する質疑

DMO支援事業、ガス事業
特別会計、土地改良施設維持
管理適正化事業、学校給食負
担金やコミュニティ・プラント
事業について質問しました。



広報研修会

全国町村議会議長会主
催の町村議会広報研修会（東京都港区のニッ
ショーホール）に3名参
加しました。

9/25
全国議長会の
広報研修会

長生郡町村議会議長会
主催の議員・事務局合同
研修会（ホテル一宮シーサイドオーツカ）に6名
参加しました。

8/26
議員・事務局
合同研修会

この交付金を活用し、
より良いまちづくりが進
むよう様々な意見を出し
白子町の希望溢れる輝く
未来を造りましょう！
任期が満了します。
この四年間の実績をしつ
かり分析し、判断しなけ
ればなりません！

田園都市国家構想総合戦
略推進本部を設置し、新
たな地方創生に向けて動
き出しています。

石破首相は所信表明演
説で「地方こそ成長の主
役」と述べ、地方創生に
関する全国各地の取組を
一層強力に支援するため、
地方創生の交付金を当初
予算ベースで倍増すると
表明しました。

令和6年10月1日に石
破茂内閣が発足しました。

編集後記